

平成28年度

教育委員会の事務の管理及び
執行状況に係る点検・評価調書

釜石市教育委員会

目 次

はじめに	1
基本目標2 絆と支えあいを大切にするまちづくり	3
1 安心できる子育て環境の整備	3
2 学びが実践につながる生涯学習社会の形成	4
基本目標6 強く生き抜く子どもを育てるまちづくり	10
1 地域との協働による特色ある教育活動の展開	10
2 生活・防災拠点としての教育環境整備	12
基本目標7 歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり	13
1 歴史遺産の活用と芸術文化の振興	14
2 スポーツの推進とスポーツ施設の拠点化	18
教育行政に関する事項	20
「平成28年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検・評価調書」有識者からの意見聴取会意見（要点）	21

はじめに

- この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条に基づき、平成 28 年度の教育委員会の管理及び執行の状況に係る点検・評価結果を取りまとめたものです。
点検・評価に当たっては、平成 23 年 12 月 22 日策定の「釜石市復興まちづくり基本計画 スクラムかまいし復興プラン」の進行管理と連動するよう、同計画の「復興まちづくりの基本目標」に基づいて整理しました。
- 点検・評価は、2 段階で実施しており、第 1 段階として、「釜石市復興まちづくり基本計画 スクラムかまいし復興プラン」の 7 つの「基本目標」のうち、3 つの「基本目標」における「取組項目」の結果を個別に評価した上で、第 2 段階として 3 つの「基本目標」のそれぞれを総合的に評価しました。
なお、「取組項目」としての位置づけではないため、点検・評価の対象ではありませんが、別途教育行政に関する取組み状況もまとめています。

釜石市教育委員会委員名簿

委員	佐藤 猛 夫
委員	市川 淳 子
委員	太田 悦 子
委員	鈴木 勝
教育長	佐藤 功

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(参考)「釜石市復興まちづくり基本計画 スクラムかまいし復興プラン」(抜粋)

目指すべき釜石の将来像：三陸の大地に光輝き希望と笑顔があふれるまち釜石

○ 7つの基本目標 (枠で囲んでいるのが、点検・評価の対象とした基本目標)

基本目標1：暮らしの安全と環境を重視したまちづくり

基本目標2：絆と支えあいを大切にすまちづくり

安心できる子育て環境の整備

(実施施策)・被災した幼稚園の整備

学びが実践につながる生涯学習社会の形成

(実施施策)・公民館や図書館など学習機能の早期復旧

・ライフステージに応じた学習機会の創出

基本目標3：生活の安心が確保されたまちづくり

基本目標4：人やもの、情報の交流拠点づくり

基本目標5：ものづくり精神が息づくまちづくり

基本目標6：強く生き抜く子どもを育てるまちづくり

地域との協働による特色ある教育活動の展開

(実施施策)・地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進

・教育関係機関と連携した心のケアの継続

生活・防災拠点としての教育環境整備

(実施施策)・防災機能や地域コミュニティの拠点となる学校の建設

・命を守る教育の推進

基本目標7：歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり

歴史遺産の活用と芸術文化の振興

(実施施策)・橋野高炉跡のユネスコ世界遺産登録の推進と近代化遺産の活用

・郷土芸能の伝承や芸術・文化活動への支援

・埋蔵文化財の調査と指定文化財の復旧

スポーツの推進とスポーツ施設の拠点化

(実施施策)・スポーツを通じた市民の健康づくりの推進

・スポーツ施設の拠点化とスポーツイベントの誘致

基本目標2 絆と支えあいを大切にするまちづくり

総合評価	
<p>・被災した鶴住居幼稚園は、平成29年3月に新園舎が竣工し、平成29年4月から新園舎での保育開始の準備が整い、子育て環境の改善が見込まれる。</p> <p>・各種生涯学習事業の利用者は、震災前より増加傾向にある。ライフステージに応じた学習機会の提供に努めるとともに、活動の場となる公民館の老朽化に伴い、優先順位を考慮しながら適切な維持補修を行う必要がある。</p> <p>・図書館は、生涯学習を支え促進する役割を果たす中核施設として、講演会の開催や資料の展示・提供など多様な学習機会の提供に努めた。施設の老朽化が進んでいるため、計画的な施設の改修や館内の環境整備を行う必要がある。</p>	

取組項目		個別評価
1	安心できる子育て環境の整備	<p>・鶴住居幼稚園は、平成29年3月に新園舎が完成し、平成29年4月保育開始に向け準備を進めており、子育て環境の改善が見込まれる。</p> <p>・平田幼稚園は、園舎の適切な維持管理に努めた。</p>
2	学びが実践につながる生涯学習社会の形成	<p>・市民のニーズや置かれた環境に即し、ライフステージに応じた学習機会の提供を行うとともに、公民館においても、地域のニーズに応じたきめ細かな事業の実施に努めた。また、子どもたちの安心安全な居場所づくりについても、地域の力を借りながら事業を展開することができた。</p> <p>・図書館の企画展の開催や移動図書館車の運行、ブックスタート事業など読書活動を推進し、様々な世代のニーズに合わせた生涯学習の機会と場の提供に努めた。</p>

【取組項目】

1 安心できる子育て環境の整備

実施施策	平成28年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
被災した幼稚園等の整備	<p><input type="checkbox"/> 鶴住居幼稚園 平成26年4月から仮設の園舎での保育を開始した。新園舎については、鶴住居小学校等と一体整備を行い、平成29年3月に完成、4月から新園舎での保育を開始する環境が整った。</p> <p><input type="checkbox"/> 平田幼稚園 平成27年11月から新園舎での保育を開始しており、適切な維持管理を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 自動体外除細動器（AED）の設置 AEDの操作を含めた、救急講習を行い、幼稚園教諭の応急処置に関する知識を深めた。</p>	<p><input type="checkbox"/> 平成29年4月から新園舎での保育を開始し、園舎の適切な管理を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> 園舎の適切な管理を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> 機器の適正な管理を行うとともに操作研修等を継続して行う。</p>

2 学びが実践につながる生涯学習社会の形成

実施施策	平成28年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応										
公民館や図書館などの早期復旧	<p>□公民館・分館維持管理 公民館（7館）及び分館（7館）の維持補修等を必要に応じて行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○野田団地分館 ガス接具交換（9月） ○特設公衆電話回線設置 中村分館、横内分館、川目分館、仮宿分館（12月） 砂子渡分館（1月） ○砂子渡分館 床全面改修工事（3月） ○大石地域交流センター 支援によるセンター増築を計画し、平成29年度に竣工予定。 <p><公民館・分館利用者数></p> <table border="1" data-bbox="347 801 986 891"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21,397人</td> <td>52,312人</td> <td></td> <td>60,414人</td> <td>68,105人</td> </tr> </tbody> </table> <p>□図書館サービスの充実 各種サービスの充実を図るとともに、講演会の開催や資料の展示・提供など多様な学習機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企画展：13回 読書への関心を深めるため、当館独自の企画展や県立図書館の巡回展を開催した。 ・「新生活」図書展・「児童書・絵本のザ・ベスト10」図書展・「健康も楽しい食事もいい歯から」図書展・「七夕」図書展・「あなたの知らない図鑑の世界」図書展・「戦争と平和」図書展・「オリンピック・パラリンピック」図書展・「旅へ行こう！」図書展・「世界の発禁本」図書展・「幕末・明治の偉人」図書展・「クリスマス」図書展・「神仏様様」図書展・忍者の図書展 ○講演会 宮沢賢治生誕120年記念「宮沢賢治を食う！」参加者33人 ○ブックスタート事業：20回 読み聞かせ及び絵本のプレゼントを通して、本に親しむことの大切さを伝えるとともに、親子のふれあい創出の一助とした。 ・もぐもぐごっくん教室と併催：10回 参加者115人 ・6ヶ月健診と併催：10回 参加者155人 ○映画会等：10回 優れたアニメ等の映画ビデオの上映を通して、図書館利用の促進を図った。 ・としょかん映画会：観覧者132人 ○出前お楽しみ会：12回 生涯学習文化課やボランティア団体と連携し、仮設団地等に出向き、読み聞かせやDVD等を上映した。 ・出前お楽しみ会：観覧者251人 ○手作り絵本教室：2回 絵本への愛着と一つのものを作り上げる喜び（達成感）を感じてもらった。 	22年度	23年度	…	27年度	28年度	21,397人	52,312人		60,414人	68,105人	<p>□ 特に公民館分館は、いずれも老朽化、経年劣化が激しいため、緊急度を勘案して維持補修や建て替えを計画する。</p> <p>□ 新規の企画展の開催や、館内で視聴覚資料が視聴できるよう環境整備に努める。</p>
22年度	23年度	…	27年度	28年度								
21,397人	52,312人		60,414人	68,105人								

- ・夏季教室：参加者17人
- ・冬季教室：参加者3人
- 図書館こどもまつり
多読賞の表彰、人形劇、映画上映、スタッフ体験を通して、親子で図書館に親しむ機会とした。
- ・参加者50人
- 体験学習等：14回
 - ・中学生職場体験学習：4回 生徒6人
 - ・教職経験者社会体験研修：1回 先生1人
 - ・施設見学：9回 見学者222人
- ふれあい通信の発行：4回
図書館の利用案内や催事情報などの提供のため学校を通じて市内全小学生に配布するとともに、館内掲示やホームページ掲載を行い、図書館の利用促進を図った。
- 移動図書館の運行
市内遠隔地や福祉施設、学校等市内74ヶ所を巡回した。
 - ・利用人数：1,701人
 - ・貸出冊数：5,512冊
- 団体貸出：通年
市内小学校や幼保施設、読書ボランティア団体などを対象に図書館資料を貸出した。
 - ・団体貸出件数：258件
- 朗読奉仕：12回
朗読奉仕「ハマナスの会」の協力により、地元紙の一部を朗読して録音し、希望者22人に定期的に送付した。
- おはなし広場：12回
「颯・2000の会」の協力により、来館した幼児・児童に絵本の読み聞かせを定期的に実施した。

〈図書館年間利用人数及び貸出冊数〉（移動図書館含む）

22年度	23年度	…	27年度	28年度
27,635人	22,432人		24,909人	25,418人
92,205冊	75,234冊		83,385冊	86,575冊

ライフステージに応じた学習機会の創出

- 家庭教育子育て支援事業
 - 就学時健診を利用した子育て学習講座「生活リズムの向上」
〔時期/会場/対象〕
 - ①11.2(水)/鶴住居小/鶴住居小20人栗林小6人
 - ②11.8(火)/平田小/白山小4人平田小19人/唐丹小6人
 - ③11.24(木)/甲子小/甲子小50人
 - ④11.29(火)/双葉小/双葉小22人 合計127人参加
 - 沿岸南部地区子育て支援ネットワーク研修会
開催日 9.30 1人参加
- 学校支援地域本部事業
地域の教育力を結集して学校教育を支援するため、学校と地域をつなぐコーディネーターを配置し、地域住民等からなるボランティア等の参画による各種の学校支援活動を行った。
〔時期〕通年
〔実施校〕釜石小学校、栗林小学校

- 小学校入学前の子どもを持つすべての親を対象に実施している講座であり、就学前の保護者が集まる有効な機会なので、今後も継続して実施する。
- 既実施校では安定継続を基本に実施していくとともに、当事業の効果を踏まえ実施校の増を図る。

〔対 象〕 実施校の児童、地域住民

〔研修等〕

- 学校支援地域コーディネーター等研修会
6.15(水)/県生涯学習推進センター/1人出席
- 学校と地域の協働のための研修会
8.8(月)/県生涯学習推進センター/6人出席
栗林小学校支援地域本部事例発表
- 釜石小学校支援地域本部地域教育協議会
①5.12(木)/釜石小学校/委員11人出席
②2.16(木)/釜石小学校/委員 9人出席
- 栗林小学校支援地域本部地域教育協議会
①5.31(火)/栗林小学校/委員10人出席
②2.28(火)/栗林小学校/委員11人出席

□ 教育振興運動

各実践区において、5者それぞれの役割を果たしながら相互に連携して地域の教育課題の解決に取り組む活動を支援し、地域の教育力の向上を図るため、研修機会の提供、情報提供や情報交換、実践区活動再構築への支援、運営経費への補助等を行った。

〔時 期〕 通年

〔対 象〕 子ども、親、教師（学校）、地域、行政

〔内 容〕 協議会総会、集約集会の開催、各実践区による活動、全県共通課題「情報メディアとの上手な付き合い方」の普及啓発

〔研修等〕

- 教育振興運動市町村担当者研修会
5.10(火)/県立生涯学習推進センター/1人出席
- 釜石市教育振興運動協議会推進委員会
6.1(水)/市教育センター/21人出席
- 管内推進研修会
6.6(月)/大船渡市立三陸公民館/22人出席
- 釜石市教育振興運動協議会総会
6.27(月)/イオンタウン釜石/53人出席
実技研修「情報機器を用いたメディア課題把握」
- 釜石市教育振興運動協議会集約集会
釜石市 PTA 連合会研究発表大会と合同
開催/2.4(土)/チームスマイル釜石 PIT/96人出席
事例発表:釜石小学校「学ぼう Workin 釜石（釜石小学校支援地域本部）」
「鶴住居子供ひろば(放課後子供教室)」
講演:「地域との協働による教育活動への期待」
- 教育振興運動だより8/1号発行

□ 放課後子ども教室推進事業

地域の協力を得て放課後子ども教室を開設し、放課後における安全・安心な居場所づくりを行った。「鶴住居子どもひろば」が「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞した。

〔時 期〕 通年

〔対 象〕 小学生、地域住民

〔場所と開所日〕

- ①「鶴住居子どもひろば」
鶴住居小、栗林小学校区/田郷仮設団地、栗林仮設団地集会室/ 4.18(月)～毎週月、木、金/三陸ひ

□ 本運動の中心となる実践区では、今後も工夫された多様な実践活動の展開が期待されるが、子どもを支える4者（親、学校、地域、行政）の関わりの強化を図りながら、本運動を通じ地域全体で子どもを育てる体制をさらに醸成していく。

□ 現在、仮設団地、復興住宅を含む6カ所（7小学校区）で実施しているが、今後も教室の特色でもある多様な体験学習の機会提供等、内容の充実を図っていく。

とつなぎ自然学校

- ② 「ばしょまえ交流館」 釜石小学校区/カトリック釜石教会/4.14(木)～毎週月、木/安全管理員7人
- ③ 「ふたば放課後子ども教室」/双葉小学校区/双葉小学校地域連携施設/4.14(木)～毎週木/安全管理員5人
- ④ 「小佐野放課後ひろば」/小佐野小学校区/小佐野公民館/4.14(木)～毎週月、木/安全管理員9人
- ⑤ 「MOSICA」/甲子小学校区/甲子町第6仮設団地/4.21(木)～毎週木/安全管理員1人
- ⑥ 「MOSICA 平田」/平田小学校区/平田復興住宅/4.14(木)～毎週木/安全管理員3人

<放課後子ども教室利用者数>

22年度	23年度	…	27年度	28年度
3,018人	335人		3,753人	3,930人

□ 子どもの読書活動推進事業

学校、図書館、ボランティア団体との連携により、子どもの感性、表現力、想像力の豊かさを育む読書活動を推進した。また、研修会等へ参加し、それぞれのスキルを高めることができた。

○絵本カーによる活動

仮設住宅談話室、学童育成クラブ、子育て支援センターなどを巡回して本の読み聞かせ活動などを実施した。市内23カ所、269回、延べ2,788人利用

○管内子どもの読書活動推進会議

5.18(水)/釜石地区合同庁舎/2人出席

○読書ボランティア研修会(県推進センター会場)

7.6(水)/県立生涯学習推進センター/4人参加

○中・高等学校図書館担当者研修会

7.27(水)/県立高田高校/5人参加

○読書ボランティア研修会(沿岸南部会場)

9.7(水)/大船渡市立三陸公民館/7人参加

□ 国際理解事業

市国際交流協会との共催事業や外部からの支援事業を活用しながら、各種講座やイベントを実施した。

○関係団体との連携事業

市国際交流協会との共催事業や外部からの支援事業を活用しながら、各種講座やイベントを実施した。

○初級英会話講座「初級英会話講座」

①7.6(水)～9.28(水)/毎週水/各コース12回(昼コースの8.17は9.28に延期)

【昼コース】10:30～11:30毎週水曜日

受講者9人/のべ104人

【夜コース】19:30～20:30毎週水曜日

受講者7人/のべ63人

○English Camp in IWATE 2016

-岩手で「海外生活」を体験してみよう-※アールム大学、岩手大学主催

11.12(土)～11.13(日)/岩手山青少年交流の家

中学生7人、市関係者2人参加

□ こどもエコクラブ【かまいし里海冒険物語】

自然の中での様々な体験活動を通じて、自然環境への理

□ 第3次子どもの読書活動推進計画(H27.4)に基づき、各関係機関等とさらに連携強化を図り事業を推進していく。

□ 外国人と触れあう機会となり、参加者からは継続した実施を望む声が多く聞かれており、今後も各種団体と連携して、事業を推進する必要がある。

□ 今後も、釜石の自然の中での体験活動を継続して実施

解を深め、環境保全に配慮した行動ができる資質を育むことを目的に開催し、海と川について、楽しみながら調べることができた。

〔時期及び内容〕

- ①「福祉の森でネイチャーゲーム」
11. 13(日)/福祉の杜ひろば/11人参加
- ②かまいしバードウォッチング
3. 20(月) /大渡橋の下の川辺/16人参加

□ 岩手大学生涯学習講座

〔場所〕教育センターほか

〔対象〕高校生以上の市民

〔時期及び内容〕

○釜石市・岩手大学「生涯学習講座」

①「地域を支える防災技術・環境技術」
理工学部教養講座

(1)「東日本大震災からの復興状況と今後の課題について」

(2)「地球温暖化に向けた取り組み」
教育センター岩大教室/8. 6(土)/25人受講

○釜石サテライト講座
②「持続的水産海洋開発と海洋エネルギー」
釜石サテライト10. 29(土)/16人受講

○岩手大学キャンパス講座
③スポーツ行動論
テーマ「まちづくり・人づくりにスポーツが果たす役割」
11. 12(土)/岩手大学キャンパス/13人受講

□ 立正大学デリバリーカレッジ

市民が生涯学習に関心を持ち実践するきっかけとするため開催した。

〔場所〕市教育センター5階

〔対象〕高校生以上の市民

〔時期及び内容〕

- ①「誰でも楽しめるタウン・ウォッチング」
6. 4(土) /24人受講
- ②「健康気象予報～天気諺に学ぶ先人の知恵～」
6. 11(土) /23人受講
- ③「越後屋はワルではない～三井高利は近代ビジネスのパイオニアである」6. 18(土)/20人受講

□ 生涯学習まちづくり出前講座

生涯学習意識の高揚と学習機会の提供を図り、地域課題を考える機会とし、参加団体、講座メニューともに充実を図り、定期的な利用が行われるようになった。

〔学習メニュー〕

市によるもの69講座、関係機関によるもの20団体84講座
計153講座登録

〈まちづくり出前講座実施回数及び受講者数〉

22年度	23年度	…	27年度	28年度
67回	16回		89回	79回
2,236人	850人		1,039人	2,157人

し、自然を敬う心を育み、環境へ配慮した行動をとることができる資質を養うきっかけをつくる。

□ 多様なニーズに対応した講座となっている。受講者のアンケート結果を参考としながら、地域課題解決のきっかけとなる講座内容を調整していく。また、高校生の受講を増やしていきたい。

□ 各回の受講者は昨年同様定員がほぼ満たされた。初年度から中高年層が多くを占めることから今後は若年層まで拡大していく。

□ 昨年度に比べて実施回数が若干減少したものの、出前講座として公民館、地域、学校等利用が多くある。引き続き、身近な学習を提供できる講座として市民への周知を図るとともに、メニューを工夫していく。

□ 自主活動グループ等によるコミュニティ形成支援事業
震災により新たなコミュニティに移られた方々に対して、公民館の自主活動グループ等への参加を誘導した。

〔時期〕 11月～

〔場所〕 釜石地区、甲子地区

〔対象〕 上記地区被災者

○研修会開催

1.25(水)/釜石情報交流センター釜石 PIT/35人出席

講演:「自分たちのやりたいことが、自分たちの健康とま
ちをつくる」

□ 自主活動グループ等を対象として、研修会を開催することができた。また、復興住宅等にチラシの配布や交流会等の場を利用してグループの活動を周知できた。今後は、サークル活動が、地域づくり活動となるよう視察や研修会を実施が必要である。

基本目標6 強く生き抜く子どもを育てるまちづくり

総合評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の協力を得ながら、郷土芸能や産業学習、鉄に関する学習、仮設住宅等でのボランティア活動など、各学校地域の特色に応じた活動をするなど、郷土を知り、自他を大切にしようとする心を育てる教育活動を展開した。また、日常の心のサポートと心のサポート授業の両輪で児童生徒に寄り添った心のケアを推進し、強く生き抜く力を育む教育を推進することができた。 ・地場産物を使用した学校給食の提供や食に関する指導を行い、児童生徒が地元食材への関心と生産者への感謝の心を育むなど「食育」の推進が図られた。 ・新共同調理場の建設基本計画を策定し、平成32年4月の供用開始に向けて事業の進捗が図られた。 ・唐丹地区学校は残工事があるものの、平成29年2月に新校舎と体育館の供用を開始し、鶴住居地区学校は平成29年3月に竣工しており事業の進捗が図られた。 	

取組項目	個別評価
1 地域との協働による特色ある教育活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の協力を得るとともに、地域に働きかけたり、ともに活動したりしながら、各学校でいのちの教育・かまいしコミュニティスクール推進事業を推進した。郷土芸能や産業学習、鉄に関する学習、仮設住宅等でのボランティア活動など、各学校地域の特色に応じた活動を工夫することができた。自分たちの住まう郷土を知り、自他を大切にしようとする心を育てる教育活動を展開し、強く生き抜く力を育む教育を推進することができた。 ・日常の心のサポートと心のサポート授業の両輪で児童生徒に寄り添った心のケアを推進することができた。スクールカウンセラーの支援を受け、個の状況に応じた対応を進めることができています。 ・市民の「魚のまち」としての意識醸成を図ることを目的とした「魚のまち釜石事業」に参画するなど、地場産物を使用した学校給食の提供や食に関する指導を行うことで、児童生徒が地元食材への関心と生産者への感謝の心を育むなど「食育」の推進が図られた。
2 生活・防災拠点としての教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴住居地区学校は、平成29年3月に竣工し、平成29年4月から供用を開始する。唐丹地区学校は、平成29年2月に校舎棟と体育館が完成、供用を開始し、平成30年2月の完全竣工に向け事業が進捗しており、教育環境整備の推進が図られた。 ・いのちの教育研修会を実施し、それを踏まえて各学校で実態に即した計画のもとに防災教育を核とした、いのちの教育に取り組み、命を守る力を身に付けさせるように努めた。 ・新共同調理場の建設基本計画を策定し、平成32年4月の供用開始に向けて事業の進捗が図られた。

【取組項目】

1 地域との協働による特色ある教育活動の展開

実施施策	平成28年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
地域づくりに寄与する、各学校の特色をいかした教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> □ 釜石市「いのちの教育」実践 「未来を担う人づくり」を進めるために、教育活動全体で防災教育を核とし、自他の命を大切にしていくなための資質・能力を向上させるとともに、地域に対する理解と愛情を育てることを目標とし、実践を深めた。 【実施校】小学校：全9校・中学校：全4校 【事業実践例】釜石市立平田小学校 ・「岩手県防災教育教材」「釜石市津波防災教育のための手引き」「気象庁地震発生の仕組み」「三陸鉄道震災学習列車」等を活用した防災教育の実施 ・地域実態を踏まえた防災指導（安全な登下校・地域と生活等）の学習 	<ul style="list-style-type: none"> □ 自他の命を大切にす心、他者のために尽くす心（恕の精神）を育てることを中核目標として、家庭・地域と協働し、防災教育を核とした取組を、各学校の実態に即して推進していく。

- ・地域避難訓練への積極的な参加態度の育成
- ・家族と一緒に「ぼうさいマップ」作成の学習
- ・幼稚園との合同避難訓練や集団下校や引き渡しの訓練の実施
- ・地域の漁業についての理解を深めるとともに、地域の方とのふれあいの機会をもつ「新巻鮭づくり体験」の実施

□ かまいしコミュニティスクール推進事業

各小・中学校において、「地域に元気を与える」「郷土釜石の理解を深める」などの、学校と地域と協働で取り組む活動等を推進した。

【実施校】

- ・小学校：全9校 ・中学校：全5校

【事業内容】

地域住民との交流活動、学校広報の発行と地域への配布、協働による花壇整備活動、地域清掃活動、地域施設を利用した体験活動、地域理解活動、地域行事を通じた交流活動、郷土芸能伝承活動、防災学習、鉄作り、鉄の学習、ラグビー部活動、地域住民参加合同運動会等

□ 学校給食への地場産食材利用

農産物について、農林課の協力を得て産直の食材納入意思の確認を行い、作付け前協議のほか現状・課題について情報共有を図り、食材の確保利用につなげた。

海産物について、通常献立での地場産品活用に加えて、市民の「魚のまち」としての意識醸成を図る事業の一環として、地元海産物（鮭と塩蔵わかめ）を使用。水産加工業者等関係者と児童による給食試食会を実施した。

〈地場産食材利用状況〉

項目	22年度	23年度	…	27年度	28年度
品目数	3	2		6	8
使用数量	1,588kg	1,183kg		2,686kg	2,180kg

□ 食に関する指導

児童生徒が正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け食事を通して自ら健康管理ができるよう、栄養教諭等により、給食時間はもとより各教科等における食に関する指導や試食会等を活用した指導に取り組んだ。

〈指導実績〉

項目	22年度	23年度	…	27年度	28年度
実施回数	29回	11回		55回	58回
(授業)	11回	6回		38回	51回
(その他)	18回	5回		17回	7回

□ 子どもたちが家族・地域に支えられていることや家族・地域に元気を与えていることを自覚し、そこで生きていることへの感謝と自己有用感をもてる取組を実践することで、家族・地域・郷土への誇りと愛情を育てる。

□ 地場産品の情報を共有して生産者・団体、関係課と協議しながら地場産物の活用を推進していく。

□ 学校と連携して、食に関する指導や試食会、食育だより等様々な機会を活用し「食育」の推進を図っていく。

教育関係機関等との連携を図った心のケア継続

□ こころのケア事業

子どもたちやその保護者、教職員の震災によるストレス障害などを早期に把握し、教育現場におけるきめ細やかなケアに対応できるよう、継続的、長期的な心のケア対策を充実させるため専門職員を配置した。

【事業内容】

スクールカウンセラー（臨床心理士）が各小・中学校を巡回（県派遣2人、市非常勤職員1人）

□ 児童生徒の心のケアは長いスパンで継続して取り組む必要がある。今後もスクールカウンセラー等の人的環境を整えるとともに、教職員の研修を実施し、組織的・長期的に取り組む体制を確立し、心のケアを推進していく。

2 生活・防災拠点としての教育環境整備

実施施策	平成28年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
<p>防災機能や地域コミュニティの拠点となる学校の建設</p>	<p>□ 唐丹地区及び鶉住居地区学校等建設事業 両地区とも校舎等の建設工事の適正な監理に努めた。唐丹地区学校は、平成29年2月に校舎及び体育館が完成し新校舎での授業を開始した。 鶉住居地区学校は3月に竣工し、4月から新校舎で授業を開始できるよう環境整備した。</p> <p>□ 自動体外除細動器（AED）の設置 AEDの付属品の更新を行い、緊急時に対応できる環境を整えた。 小学校9校中2校、中学校5校中2校更新</p> <p>□ 新たな共同調理場の整備検討事業 施設及び設備の老朽化が進む中で施設の敷地の借地期限が平成32年7月に迫っていることから、仮設調理場機能も集約して学校給食衛生管理基準に適合した新たな共同調理場を建設するため、災害対応機能を備えた施設とする基本計画を策定した。</p>	<p>□ 唐丹地区は、残工事を適正に監理し、平成30年2月完全竣工を目指す。 鶉住居地区は適切な維持管理に努める。</p> <p>□ 機器の適正な管理を行う。</p> <p>□ 基本計画を基に、調理設備や施設機能の詳細をまとめ、平成32年4月供用開始に向けた設計及び建設事業を進める。</p>
<p>命を守る教育の推進</p>	<p>□ いのちの教育研修会 釜石市の学校教育の目標である、「生き抜く力」の育成を図るために、各小・中学校における担当教員が「いのちの教育」の重要性や今後の方向性について理解を深めることにより、防災教育を核とした「いのちの教育」の充実に資することを目的に研修会を実施した。 また、各小・中学校での取り組みをまとめた「平成28年度いのちの教育実践事例集」を作成した。</p> <p>【事業内容】</p> <p>①第1回研修会 6.3（金）20人参加 ・講話：東日本大震災からの教訓～生きる力を育むために～ ・説明：釜石市の「いのちの教育」について</p> <p>②第2回研修会 2.14（火）19人参加 ・講話：「これまでの『いのちの教育』と今後の方向性」 ・協議①グループ協議 各校取組紹介、協議、今後必要と考える取組について 協議②全体協議 震災から7年目をむかえる今、「いのちの教育」の今後について ～担当者として見るこれまでの取組、これからの取組～</p>	<p>□ 教職員の人事異動により、構成メンバーの入れ替えがあっても、継続的・発展的にいのちの教育が推進されるように研修会を行っていく。 そして、恕の精神を根幹とし、自他の命を守る子どもを育成するため、各校において、小・中9年間を見据えた「いのちの教育」の充実・改善を図り、継続的に取り組んでいくようにする。</p>

基本目標7 歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり

総合評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・国指定史跡橋野高炉跡は史跡の内容解明に取り組んだほか台風10号被害の仮復旧を行った。また、旧釜石鉱山事務所の一般公開や、無形民俗文化財3件の指定など、文化財の保護、活用に取り組んだ。 ・芸術文化活動については、郷土芸能復興支援事業を継続実施し、郷土芸能団体の再整備化に取り組むとともに、伝統文化こども教室や釜石市民芸術文化祭などを実施し、優れた文化芸術を鑑賞し、触れる機会を設けた。 ・生涯スポーツについては、引き続き被災者の健康支援事業を実施するとともに一般市民を対象に、健康体操教室やニュースポーツ教室を継続した。競技スポーツについては、ラグビィグドリーム事業等により当市を代表するラグビー競技の推進を図り、ラグビーワールドカップ2019™に向け機運の醸成を図る取り組みを進めた。 ・希望郷いわて国体が県内各地で開催され、当市においても「7人制ラグビー成年男子・女子」「トライアスロン」「オープンウォータースイミング」の3競技を市内各会場で実施し、関係団体やボランティアの協力とともに、児童・生徒を含めた市民の応援により、大会を成功に導いた。 	

取組項目	個別評価
1 歴史遺産の活用と芸術文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定史跡橋野高炉跡の範囲内容確認調査を実施し、史跡の内容解明に取り組んだ。また、台風10号被害状況の調査と仮復旧作業を行った。 ・旧釜石鉱山事務所をリニューアルオープンし、一般公開を行った。また、収蔵物の整理作業を行った。 ・郷土芸能においては、引き続き民間法人等の助成金を利用した用具などの整備に加え、屋台の格納庫や用具倉庫等の整備を対象とした郷土芸能復興支援事業を継続実施し、郷土芸能団体の再整備化に取り組んだ。 ・埋蔵文化財調査は、被災者の住宅再建等に伴う試掘調査を実施したほか、復興事業に伴う埋蔵文化財の緊急発掘調査等を実施した。 ・市指定文化財は、釜石市文化財保護審議会の審議を経て、無形民俗文化財3件を平成28年4月と平成29年3月に指定した。 ・昨年度に引き続き、伝統文化こども教室や青少年劇場、釜石市民芸術文化祭などを実施し、優れた文化芸術を鑑賞し、触れる機会を設けた。 ・郷土資料館は、継続して収蔵資料を適正に保存管理し、6回の企画展を行った。その中で、希望郷いわて国体開催にちなんだ企画を実施するなど、資料館を訪れるきっかけ作りに取り組んだ。
2 スポーツの推進とスポーツ施設の拠点化	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツについては、引き続き被災者の健康支援事業として実施したが、仮設住宅入居者だけでなく一般市民も対象に、健康体操教室やニュースポーツ教室を継続した。競技スポーツについては、ラグビィグドリーム事業等により当市を代表するラグビー競技の推進を図り、ラグビーワールドカップ2019™に向け機運の醸成を図る取り組みを進めた。 ・避難拠点施設でもある市民交流センターの耐震補強工事及び老朽設備等の改修工事を、昨年引き続き行った。 ・希望郷いわて国体が県内各地で開催され、当市においても全国各地から代表選手を迎え「7人制ラグビー成年男子・女子」「トライアスロン」「オープンウォータースイミング」の3競技を市内各会場で実施した。 ・体育協会と連携して、国体選手強化のため補助金による助成を行い、選手の強化・育成に取り組んだ。

【取組項目】

1 歴史遺産の活用と芸術文化の振興

実施施策	平成28年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
<p>橋野高炉跡のユネスコ世界遺産登録の推進と近代化遺産の活用</p>	<p>□ 史跡橋野高炉跡整備事業 来場者の安全や遺構の保護等を目的として、国指定史跡橋野高炉跡を整備するため、史跡整備検討委員会を開催し、範囲内容確認調査を実施した。また、台風10号の被害調査と仮復旧作業を行った。</p> <p>(1) 史跡整備検討委員会の開催 (4回)</p> <p>【第1回】 [日程] 7.27 (水) [場所] 教育センター [内容] ①橋野鉄鉱山修復・整備活用計画について ②登録1周年の新たな課題について③基本方針・モニタリングについて</p> <p>【第2回】 [日程] 11.9 (水) [場所] 教育センター [内容] ①台風10号の被害状況及び今後の対応について②橋野鉄鉱山修復・整備活用計画について</p> <p>【第3回】 [日程] 1.30 (月) [場所] 教育センター [内容] ①橋野鉄鉱山修復・整備活用計画について</p> <p>【第4回】 [日程] 3.6 (月) [場所] 教育センター [内容] ①橋野鉄鉱山修復・整備活用計画について</p> <p>(2) 範囲内容確認調査 史跡北端の三次元測量、三番高炉北西側の磁気レーダー探査</p> <p>(3) 史跡整備事業 史跡内樹木の伐採、モニタリングの実施</p> <p>(4) 台風10号被害調査及び損傷個所の仮復旧</p> <p>□ 旧釜石鉱山事務所活用事業 国登録有形文化財(建造物)旧釜石鉱山事務所をリニューアルオープンし一般公開した。また、収蔵資料の整理作業を行った。</p> <p>(1) 旧釜石鉱山事務所活用検討委員会 [日程] 5.26 (木) [場所] 旧釜石鉱山事務所 [内容] ①展示について②今後のスケジュールについて③見学料について</p> <p>(2) リニューアルオープン式 [日程] 6.30 (木) [会場] 旧釜石鉱山事務所</p> <p>(3) 一般公開 [期間] 6.30 (木) ~12.8 (木)</p> <p>(4) 企画展『釜石の鉱山と懐かしの写真展』開催 [期間] 11.23 (水) ~12.8 (木) [備考] 鉄の週間に合わせて開催</p> <p>□ 鉄づくり体験事業 鉄づくり体験やふるさと歴史講座を通じて、先人から受け継がれてきた「ものづくり精神」を子どもたちに伝え、ふるさとを愛する人材の育成を図った。</p> <p>(1) 鉄づくり体験(総合学習支援の一環として) [日程] 8.25(火)~26(水) [会場] 旧釜石鉱山事務所横(釜石鉱山敷地内)</p>	<p>□ ・橋野高炉跡の範囲内容確認調査を実施する。 ・台風10号の被害調査と復旧作業を行う。 ・橋野鉄鉱山修復・整備活用計画を策定する。</p> <p>□ 一般公開を継続しながら収蔵資料の整理を行う。</p> <p>□ 引き続き、先人から受け継がれてきた「ものづくりの精神」を子どもたちに伝え、ふるさとを愛する人材の育成を図る。</p>

	<p>〔参加者〕 甲子中学校1年生 〔内容〕 甲子中学校では1年生が総合学習として「鉄の学習」に取り組んでおり、鉄づくり体験は、その一環として実施したものの。</p> <p>(2) 総合学習支援（鉄の歴史館、橋野高炉跡見学ほか） 白山小学校</p> <p>(3) 鉄の検定 ①小中学生 12.1（木）～8（木）各学校で実施、全体で219人 ②一般 12.1（木）教育センターで実施、24人 ③表彰式 〔日程〕 1.14（土） 〔表彰〕 小中学生 1級なし 2級7人 ※1～3位も表彰 一般 1級1人 2級6人</p>	
<p>郷土芸能の伝承や芸術・文化活動への支援</p>	<p><input type="checkbox"/> 郷土芸能復興支援事業 震災津波で被災した釜石虎舞をはじめ、神楽、太鼓等の団体に対して、各種団体等からの補助等の支援活動を紹介。必要に応じて、直接市からの補助金等の支出についても検討しながら、失った機材や活動場所等の確保を図った。</p> <p>(1) 平成28年度助成状況 ・文化振興基金団助成事業 砂子畑道々虎舞、砂子畑丹内神楽、箱崎虎舞 ・28年度郷土芸能復興支援事業 白浜虎舞 ・28年度アサヒグループ 箱崎虎舞、中村さんさ踊り</p> <p>(2) その他 28年度助成事業の照会、申請事務の助言等を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 郷土芸能祭開催事業 釜石市内に伝わる無形民俗文化財の保護と活用を通じて「かおり高い文化のまちづくり」を推進するため、釜石市郷土芸能祭を開催する。 ・隔年事業のため平成28年度は未実施。</p> <p><input type="checkbox"/> 岩手県青少年劇場開催事業 芸術家の実演に触れることで、豊かな情操の涵養に資することができた。 〔時期〕 6.7（火） 〔場所〕 小佐野小学校体育館 〔対象〕 市内小学校5,6年生 528人 県立釜石祥雲支援学校児童 23人 〔内容〕 ワールド ALOHA! ハワイからの贈り物 (ハワイの踊りと楽器に触れてハワイの文化を体感する)</p> <p><input type="checkbox"/> 伝統文化こども教室事業 平成28年度も引き続き5団体で教室を開催することができた。教室の指導者養成や児童生徒、運営資金の確保が課題である。 〔時期〕 通年 〔場所〕 市内</p>	<p><input type="checkbox"/> 平成29年度も各種助成金を活用して実施する。</p> <p><input type="checkbox"/> 平成29年度に第23回釜石市郷土芸能祭を開催予定。</p> <p><input type="checkbox"/> 平成29年度は従前会場で実施し、平成30年度については、開催場所を市民ホールに移して実施する予定。</p> <p><input type="checkbox"/> 平成29年度については、前年度に引き続き4団体が文化庁の補助事業を活用し、1団体が市補助金により運営をしている。</p>

	<p>〔対象〕市内の小学校から高等学校までの児童生徒 〔団体〕釜石市裏千家茶道子ども教室 釜石市表千家茶道子ども教室 日本将棋連盟釜石支部 長唄三味線に親しむ会 釜石草月会</p> <p>□ 釜石市民芸術文化祭開催事業 同一会場、同一日程で発表部門と展示部門を開催したことにより一体感が創出されるが、旧市民文化会館と異なり、会場の配置により各団体への来場者数に差が出る等の課題が残った。 〔時期〕11.4（金）～6（日） 〔場所〕シープラザ遊、シープラザ釜石 〔対象〕市民 〔内容〕絵画、書、切り絵、生け花等の展示、バレエ、尺八、大正琴等のステージ発表</p> <p>＜市民芸術文化祭参加団体、参加者数＞</p> <table border="1" data-bbox="363 779 949 891"> <tr> <td>22年度</td> <td>23年度</td> <td>…</td> <td>27年度</td> <td>28年度</td> </tr> <tr> <td>32団体</td> <td>24団体</td> <td></td> <td>39団体</td> <td>37団体</td> </tr> <tr> <td>4,817人</td> <td>1,357人</td> <td></td> <td>2,555人</td> <td>2,020人</td> </tr> </table>	22年度	23年度	…	27年度	28年度	32団体	24団体		39団体	37団体	4,817人	1,357人		2,555人	2,020人	<p>□ 芸術文化活動の発表及び鑑賞の場を引き続き提供し、文化のこもり高いまちづくりを目指す。 平成29年度の実施会場については前年度同様を予定しており、多くの方に展示や発表を見ていただく工夫をする。</p>
22年度	23年度	…	27年度	28年度													
32団体	24団体		39団体	37団体													
4,817人	1,357人		2,555人	2,020人													
<p>埋蔵文化財の調査と指定文化財の復旧</p>	<p>□ 埋蔵文化財保存事業 地域社会の歴史をあとづける貴重な文化遺産であり生きた学習の場を提供する埋蔵文化財が永久に失われてしまうことを避けるため、記録保存を行う。 復興事業（区画整理事業等）や個人住宅建築等に伴い、事業予定地内に存在する埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の試掘調査を実施し、詳細な調査が必要な箇所については緊急発掘調査（本発掘調査）を実施した。</p> <p>（1）埋蔵文化財包蔵地（遺跡数） 315遺跡 （2）埋蔵文化財照会 223件 （3）慎重工事 12箇所 （4）立会調査 9箇所 （5）試掘調査 5箇所 （6）本発掘調査 3箇所 泉沢屋敷遺跡2件、下平田遺跡1件 （7）市内遺跡分布調査 縄文時代後晩期遺跡の分布調査</p> <p>□ 史跡等周知促進事業（交付金事業） ・平成28年度は未実施。</p> <p>□ 文化財保護事業 釜石市にある文化財の適正な保護と活用を図るため、文化財保護審議会を開催して、文化財の指定等の諮問に対する答申などを受けた。 また、指定・未指定にかかわらず、被災地域を中心として文化財目録の洗い出しを行い、貴重な文化財の発掘及び指定促進を図った。</p> <p>（1）文化財保護審議会 【第1回】 〔日程〕6.16（木） 〔会場〕教育センター</p>	<p>□ 復興事業及び復興に伴う個人住宅の建築を停滞させることの無いよう、限られた職員ではあるが全力を挙げていく。また、調査で得られた文化財やデータなどを、現地及び郷土資料館の企画展などで発表・展示し市民への周知を図る。</p> <p>□ 事業にあたっては、浸水区域内の復興事業の進捗状況を勘案し、浸水区域外にある損壊した文化財、史跡等の修復にも取り組んでいく。</p> <p>□ 昨年度に引き続き、文化財保護審議会を開催する。また、市内の文化財の掘り起こし、新規指定に取り組んでいく。</p>															

〔内容〕①平成27年度文化財保護と活用事業の報告、
②市指定文化財の一部解除③平成28年度文化財指定候補物件④平成28年度文化財パトロールの実施
⑤文化財指定推進物件

【第2回】

〔日程〕12.22（木）〔会場〕教育センター・鶴住神社

〔内容〕①市指定文化財（天然記念物）の指定解除

【第3回】

〔日程〕3.28（火）〔会場〕教育センター

〔内容〕①釜石市指定文化財にかかる指定候補物件（無形民俗文化財）②釜石市指定文化財（無形民俗文化財）の内容の一部修正

(2) 文化財パトロール

〔日程〕7.28（木）〔参加者〕文化財保護審議委員

〔場所〕①泉沢屋敷遺跡発掘調査現場②箱崎神社境内林③鶴住神社（夫婦クロベ）④栗林銭座跡

(3) 文化財調査事業

〔時期〕通年〔場所〕市内全域

〔内容〕市内の指定文化財の保存と維持管理、史跡の保存及び景観の保持、文化財指定の促進
・釜石市文化財保護審議会委員による調査
・各種関係団体による調査への協力
・生涯学習文化課職員による調査

〔新規指定文化財〕

- ・本郷伊勢神楽〔指定年月日〕平成28年4月28日
- ・砂子畑鹿踊〔指定年月日〕平成29年3月29日
- ・神ノ沢鹿踊〔指定年月日〕平成29年3月29日

〔指定・登録文化財件数〕

- ・文化財指定件数(国・県・市)計68件
国指定文化財 2件
県指定文化財 6件
市指定文化財 60件
- ・国登録有形文化財（建造物）1件

□ 郷土資料館管理運営事業

釜石市郷土資料館の収蔵資料（被災資料保存事業により保存・修復処理した資料を含む）について、通年で整理・分類を行った。また、通常展示とは別にテーマを設けて企画展を行い、展示スペースの関係上、普段は未公開となっている資料が市民の目に触れる機会を作った。

〔時期〕通年（企画展は年6回）

〔内容〕収蔵資料の保存・管理、展示公開、データベースの整理、資料貸出し

<郷土資料館利用者数>

24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
36団体	41団体	53団体	65団体	76団体
547人	787人	948人	1,310人	1,314人

<所蔵資料件数>

7,917件（平成29年3月現在）

□ 郷土資料館被災資料保存事業は平成27年度で終了。平成29年度には資料館内部を改修整備する予定。

2 スポーツの推進とスポーツ施設の拠点化

実施施策	平成28年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応																																																																																
スポーツを通じた市民の健康づくりの推進	<p>□ スポーツ推進委員派遣事業 スポーツ推進委員を地区行事やPTA 行事、親子レクリエーション等へ派遣することで、健康づくりとスポーツの普及を図った。</p> <p><講師派遣事業実施件数と参加者、推進委員数></p> <table border="1" data-bbox="343 421 930 566"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23件</td> <td>9件</td> <td></td> <td>8件</td> <td>16件</td> </tr> <tr> <td>739人</td> <td>496人</td> <td></td> <td>438人</td> <td>559人</td> </tr> <tr> <td>26人</td> <td>25人</td> <td></td> <td>27人</td> <td>27人</td> </tr> </tbody> </table> <p>□ 仮設団地等における健康支援事業 27年度までは「被災者健康づくり事業」として実施してきたものを、28年度は被災者支援総合交付金を活用して「仮設団地等における健康支援事業」として実施。指導員2人体制で仮設団地等を訪問し、市民の健康づくりのため健康体操教室などを行った。</p> <p><健康支援（健康づくり）事業参加者数></p> <table border="1" data-bbox="343 842 930 918"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-人</td> <td>235人</td> <td></td> <td>984人</td> <td>8,100人</td> </tr> </tbody> </table> <p>□ 第42回釜石健康マラソン大会 市民参加型のイベントであり、健康増進の一助として釜石市球技場（周辺）を会場に実施した。</p> <p><健康マラソン大会参加者数></p> <table border="1" data-bbox="343 1088 930 1164"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>753人</td> <td>574人</td> <td></td> <td>530人</td> <td>463人</td> </tr> </tbody> </table> <p>□ 体育施設（避難拠点）改修事業 [内容] ○市民交流センター本館及び体育館 ・本館耐震補強工事・本館水道配管改修工事 ・本館トイレ改修工事・非常照明設備改修工事 ・消防設備改修工事・体育館耐震補強工事 ・体育館トイレ改修工事ほか</p> <p><スポーツ施設利用者数></p> <table border="1" data-bbox="343 1471 968 1547"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>158,535人</td> <td>81,540人</td> <td></td> <td>142,093人</td> <td>148,747人</td> </tr> </tbody> </table> <p><スポーツ団体数（上段）及びスポーツ少年団数（下段）></p> <table border="1" data-bbox="343 1579 968 1688"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37団体</td> <td>37団体</td> <td></td> <td>37団体</td> <td>37団体</td> </tr> <tr> <td>34団体</td> <td>34団体</td> <td></td> <td>26団体</td> <td>25団体</td> </tr> </tbody> </table> <p>□ 学校体育施設開放事業 市内小中学校における体育館やグラウンドを学校の運営に支障のない範囲において開放し、一般の利用に供した。</p> <p><学校体育施設開放事業登録団体数及び利用者数></p> <table border="1" data-bbox="343 1861 968 1971"> <thead> <tr> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>…</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>97団体</td> <td>85団体</td> <td></td> <td>135団体</td> <td>133団体</td> </tr> <tr> <td>60,233人</td> <td>39,092人</td> <td></td> <td>74,697人</td> <td>78,676人</td> </tr> </tbody> </table>	22年度	23年度	…	27年度	28年度	23件	9件		8件	16件	739人	496人		438人	559人	26人	25人		27人	27人	22年度	23年度	…	27年度	28年度	-人	235人		984人	8,100人	22年度	23年度	…	27年度	28年度	753人	574人		530人	463人	22年度	23年度	…	27年度	28年度	158,535人	81,540人		142,093人	148,747人	22年度	23年度	…	27年度	28年度	37団体	37団体		37団体	37団体	34団体	34団体		26団体	25団体	22年度	23年度	…	27年度	28年度	97団体	85団体		135団体	133団体	60,233人	39,092人		74,697人	78,676人	<p>□ 誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの紹介や、スポーツに親しむ機会の提供により、生涯スポーツ、地域スポーツの更なる振興を図る。</p> <p>□ 引き続き被災者支援総合交付金を活用し、体育協会との連携により、市内全域の仮設団地、復興住宅等での活動を行っていく。</p> <p>□ 参加者の増加を図るため、学校ぐるみで参加してもらうなどの工夫が必要。</p> <p>□ スポーツ施設の整備・改修については、今後も計画的に進めていく。</p> <p>□ 今後も一般利用者への体育館施設の開放を継続していく。</p>
22年度	23年度	…	27年度	28年度																																																																														
23件	9件		8件	16件																																																																														
739人	496人		438人	559人																																																																														
26人	25人		27人	27人																																																																														
22年度	23年度	…	27年度	28年度																																																																														
-人	235人		984人	8,100人																																																																														
22年度	23年度	…	27年度	28年度																																																																														
753人	574人		530人	463人																																																																														
22年度	23年度	…	27年度	28年度																																																																														
158,535人	81,540人		142,093人	148,747人																																																																														
22年度	23年度	…	27年度	28年度																																																																														
37団体	37団体		37団体	37団体																																																																														
34団体	34団体		26団体	25団体																																																																														
22年度	23年度	…	27年度	28年度																																																																														
97団体	85団体		135団体	133団体																																																																														
60,233人	39,092人		74,697人	78,676人																																																																														

<p>スポーツ施設の拠点化とスポーツイベントの誘致</p>	<p>□各種イベントの開催及び支援</p> <p>○釜石ラグビィグドリーム2016 〔期日〕8.27(土) 〔場所〕釜石市球技場 〔内容〕釜石SW-秋田ノーザンブレッツの無料招待試合 市内小学生チームによるタグラグビー交流試合 〔参加者〕約400人</p> <p>○各種大会等への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第51回岩手県弓道釜石大会 4.29(金) 50千円 ・第34回三陸学童軟式野球大会 7.16(土)～18(月) 50千円 ・東海市スポーツ交流事業(バレーボール) 8.1(月)～3(水) 500千円 ・第33回全国ビーチボール競技大会 9.11(日)～12(月) 50千円 ・岩手県民大会ボクシング競技 7.7(木)～10(日) 50千円 ・第9回鉄と魚とラグビーのまち釜石潮騒ウォーク 10.23(日) 50千円 ・第11回釜石市長杯スポーツチャンバラ大会 2.19(日) 50千円 ・第7回かまいし仙人峠マラソン大会 10.30(日) 4,000千円 <p>□いわて国体開催事業 第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」が開催され、 当市においては3種目の正式競技を実施した。 〔内容〕</p> <p>○第71回国民体育大会釜石市実行委員会負担金 ・第71回国民体育大会釜石市実行委員会への負担金を支出し、大会の円滑な準備・開催を図った。</p> <p>○希望郷いわて国体選手強化事業補助金 ・釜石市体育協会と連携し、国体に出場する強化選手の育成費等に対し補助を行った。</p> <p>○市道補修工事費、路面清掃業務委託料 ・トライアスロン競技実施に際し、バイクコースとして使用する市道に対し必要な補修及び路面清掃を行った。</p> <p>○音響設備修繕料 ・ラグビー競技実施に際し、釜石市球技場の屋外音響設備の修繕を行った。</p> <p>○各種会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務・広報・市民運動専門委員会 ・競技式典専門委員会 ・観光・医事・衛生専門委員会 ・交通警備・防災専門委員会 ・各競技団体との協議、打合せ <p>〔釜石市開催競技参加者及び観覧者数(延べ人数)〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンウォータースイミング競技 994人 ・トライアスロン競技 2,141人 ・ラグビー競技 6,060人 	<p>□引き続き補助金を交付するなど競技団体・選手の強化支援等を継続し、スポーツ振興を図る。</p> <p>□希望郷いわて国体は平成28年度で終了</p>
-------------------------------	--	---

○ 教育行政に関する事項

主な項目	平成28年度の主な取り組み内容と成果	今後の対応
教育行政	<p>□ 教育行政の執行に当たっては、5人の委員で構成される合議制の執行機関として、毎月の定例会議のほか必要に応じて会議を招集するとともに、学校訪問の実施や各課の事務の取り組み状況の把握を行った。</p> <p>また、新しい教育委員会制度に対応した総合教育会議を開催し適切な執行管理に努めた。</p> <p>(教育委員会議定例会) 12回開催 (教育委員会議臨時会) 3回開催 (総合教育会議) 2回開催 (委員会議以外の主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校訪問 <ul style="list-style-type: none"> 平田幼稚園 6.14(火) 釜石小学校 6.14(火) 唐丹中学校 7.12(木) ・ 学校公開 <ul style="list-style-type: none"> 平田小学校 9.30(木) 釜石中学校 11.9(水) ・ 市町村教育委員会連合会研修会 7.18(金) ・ 「いわて教育の日」記念行事への参加 9.21(木) ・ 教育研究所研究発表会 8.5(金) 1.5(木) ・ 市町村教育委員会協議会委員研修会 2.8(水) ・ 入学式、卒業式、成人のつどい ほか <p>□ 総合教育会議で協議を重ね、平成29年3月に教育大綱を策定した。</p> <p>□ 市民への教育行政全般に関する情報提供を行うため、「教育広報」を11月と3月に発行した。また、「まなびい釜石」は6月と9月に発行し、市内全戸に配布した。</p>	□ ・ 総合教育会議の充実
教育振興基金寄附金	<p>□ 釜石市の教育振興と児童・生徒を応援するためにと、全国から寄附金が寄せられた。</p> <p>・ 28年度寄附金19件 (内訳: 団体13件 個人6件) 合計 22,111千円</p>	□ 釜石市教育振興基金に積み立て、その後寄附者の申し出に沿った事業に活用する。
スポーツ振興基金寄附金	<p>□ 釜石市のスポーツ振興のためにと、全国から寄附が寄せられた。</p> <p>・ 28年度寄附金74件 (内訳: 団体1件 個人73件) 合計611千円</p>	□ 釜石市スポーツ振興基金に積み立て、その後寄附者の申し出に沿った事業に活用する。

「平成28年度教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検 ・評価調書」 有識者からの意見聴取会意見（要点）

有識者からの意見聴取会を開催し、教育委員会が取りまとめた点検・評価調書に基づき、3つの基本目標、その目標に係る6つの取組項目について、自己評価の妥当性及び今後の教育施策の推進に向けて御意見をいただいた。

- 1 開催日時 平成29年8月21日（月）15時00分～17時05分
- 2 会 場 釜石市教育センター 2階 教育委員会室
- 3 出席委員 柏崎 未来さん（一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校理事）
蓮見 純子さん（釜石市スポーツ推進委員協議会理事）
紺野 節子さん（釜石市芸術文化協会常任理事）
久保 知久さん（釜石市文化財保護審議会副会長）
千葉 愛子さん（釜石市小中学校長会事務局次長）
藤原 けいとさん（釜石保育会会長）

※欠席 なし

4 意見の聴取方法

- (1) 点検・評価調書を事前に配布し、あらかじめ目を通していただいた上で、当日の会議において意見を伺った。
- (2) 妥当性については、「概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）」、「やや妥当でない（やや違っている）」、「全く妥当でない（全く違っている）」のいずれに該当するかという観点からを中心に意見を伺った。

5 意見の概要

基本目標2 絆と支えあいを大切にすまちづくり

(1) 安心できる子育て環境の整備

(2) 学びが実践につながる生涯学習社会の形成

妥当性について	概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館では講演会や展示会等をたくさん企画しており参加者も多いと思う。今後は郷土資料館と連携し、市民ホールなど広い会場を使い大規模な講演会や展示会をすると市民サービスにもなるのではないか。 ○放課後子ども教室推進事業は非常に大事。子ども達には学校以外の付き合いも必要。安全管理員など世代の違う方と接して学ぶこともある。色々な学びの場になって良い。 ○歩け歩け運動を復活させてほしい。 ○子どもの読書活動推進事業の絵本カーはいい形で活動している。引き続きお願いしたい。 ○幼稚園の新園舎が完成したことは子どもたちにとって大変良いこと。 ○岩手大学生涯学習講座への高校生の参加を増やす工夫が必要。

基本目標6 強く生き抜く子どもを育てるまちづくり

(1) 地域との協働による特色ある教育活動の展開

(2) 生活・防災拠点としての教育環境整備

妥当性について	概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）
主な意見	<p>○食に関する指導は、小中学校中心だが、保育園 幼稚園の年齢でも必要なことである。</p> <p>○就学前の食に関する指導が大事。色々な食材に触れる家庭環境が必要。</p> <p>○給食に地場産食品使うのはよいこと。</p> <p>○学校給食で出される食材について、どのような過程を経て提供されているかを教えることも必要。</p> <p>○いのちの教育実践について、幼児教育においても子どもたちへの愛情、地域への愛情など愛を教えるのは大切な事。</p> <p>○心のケアについて、子どもに手厚いフォローをするとともに教職員へのケアもしっかりしてほしい。</p> <p>○地域の理解を深めふれあいの機会を持つための新巻鮭づくり体験は、釜石らしくてよい。</p> <p>○AEDの講習や、土砂災害の区域など大人も学ぶ機会があるとよい。</p> <p>○強く生き抜く子どもを育てるとともに、釜石の子どもたちは人の為につくすやさしい心も育てていると実感した。</p> <p>○心のケア事業は、スクールカウンセラーの果たす役割は大きい。</p>

基本目標7 歴史文化やスポーツを生かしたまちづくり

(1) 歴史遺産の活用と芸術文化の振興

(2) スポーツの推進とスポーツ施設の拠点化

妥当性について	概ね妥当な評価である（概ね自己評価のとおりである）
主な意見	<p>○歩け歩け運動などシニアの運動機会を設ける場合は、移動手段が課題である。</p> <p>○スポーツに限らず色々な活動をするのは良いこと。キッズからシニアまで健康に対するガイダンスをしてほしい。</p> <p>○年代問わず、みんなで運動した後、健康や食に関する話を聞き地場産食品を使って料理するという企画ができるとよい。</p> <p>○旧釜石鉱山事務所周辺の景色が素晴らしい。案内板の表示など市内外の人に見学してもらえるように工夫してほしい。</p>

6 その他（全般を通しての意見） 特になし

